

高リン血症治療薬 Best Choice ～エキスパートのコツから学ぶ～ 序

高リン血症は、血管石灰化および生命予後と関連することが明らかになっている。その中で、高リン血症の病態が明らかになり、数々の高リン血症治療薬が上市された。

しかし、患者さんは高リン血症になることによって症状が出るわけではないにも関わらず、食事制限、多くの薬剤を服用することが余儀なくされる。高リン血症治療薬の開発スピードが速すぎて、臨床現場が十分な咀嚼が出来ていない印象を受ける。患者さんが正しいアドヒアランスを意識して服用することに、十分な注意が払われているであろうか？最近、製薬協（日本製薬工業協会）の取り決めで、他社の製品と比較した情報に心することが難しい状況になっている。

そういう背景の基に、本書では各薬剤の臨床治験および代表的な臨床研究をされているエキスパートの先生方にご意見を伺い、そのコツから実践的な処方を読者の皆さんに学んでいただきたいという思いで企画した。

錠剤の実物大の写真を掲載し、私見ではあるものの幾つかの投薬フローを示している。ガイドラインではカバーできない、エキスパートの先生のオピニオンを参考に、日常臨床にあたっていただきたいと思う。

2016年5月

横山 啓太郎